

平成30年3月23日
田川郡教育研究所
所長 高橋 孝徳

研究紀要「第57集」の発刊にあたって

田川郡教育研究所では、新学習指導要領の全面実施を見据え、本年度より、研究主題を「「生きる力」を育む学習指導の研究～主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を通して～」と設定し、1年次の取組を実施してまいりました。本年度も、各教科等部会より貴重な実践事例をご提出いただき、研究紀要「第57集」を発刊する運びとなりました。各先生方の日頃の教育実践に対する熱意が感じられ、心より敬意と感謝を表します。

この研究紀要の発刊が、少しでも田川郡の子どもたちへのよりよい教育の充実のための一助となればと願っております。各学校でのさらなる教育向上へ向けて活用していただければ幸いです。

平成29年3月に新学習指導要領が告示され、本年度すでに田川郡の各小・中学校では、校内研修や試行実践など学校の状況に応じて様々な取組を進めておられます。また、平成30年度には、新学習指導要領の前倒しをする学校があるとお伺いしています。各学校では、全面実施に向けて待ったなしの状態ではないかと思えます。

各学校におかれましては、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、まずは子どもたちの実態を把握し、組織的に取り組むために全教職員で共有し、育成したい資質や能力を明確にしてから、段階的・計画的に実践を重ねることが大切だと考えます。

学校教育は、待ったなしの状態だからこそ、安易に流行に流された実践をするのではなく、目の前にいる今の子どもたちのために必要なこと（必要となること）を、組織的・計画的・段階的・効果的に地道に実践していくことが大切だと思います。教師の業務改善が叫ばれていますが、これこそが教師の本務だと思います。

当研究所におきましても、より一層、実践事例や資料等の収集と紹介に努めますとともに、教育関係機関との連携を図りながら各事業内容の充実に努め、より実践的な研修の実施に取り組んで参りますので、よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、当研究所の事業の推進に対しまして、日頃よりご支援とご協力を賜りました田川郡町村会並びに田川郡地教委連絡協議会、福岡県教育庁筑豊教育事務所、田川郡小・中学校校長会並びに教頭会の皆様に衷心より感謝申し上げます。

また、本研究紀要発刊にあたり、ご執筆いただきました研究員並びに実践に取り組まれた先生方、そして、ご指導いただきました各部担当の校長先生や教頭先生方に厚くお礼を申し上げますとともに、皆様の今後ますますのご活躍を祈念いたします。